

## 三重から初の国会議員を

1月28日午後、鈴鹿市文化会館さつきプラザで共産党鈴鹿市後援会の「新春のつどい」が行われました。武田良介参院議員、中野たけし衆院比例東海ブロック候補を迎えて、今年は三重県から初めての国会議員を送り出そうと誓いあいました。会場いっぱいの110人が参加、大きな声で歌い、抽選会や初めての企画「古本バザー」などを楽しみました。楽しくて元気の出るつどいでした。



1月28日に開催しました「新春のつどい」には大勢の皆さんにおいでをいただきありがとうございますございました。また、当日、催しました「古本バザー」にも、後援会の皆様から貴重な書籍をご提供いただきありがとうございます。ありがとうございました。

これからも「みんなが参加できる」後援会活動をめざしていきたく思います。今後ともよろしくお願いいたします。

鈴鹿市日本共産党後援会長

谷口 茂



### アベソーリはもうゴメン

原 信子

それに対し、アベソーリ  
始め大臣の答弁は、全く馬  
鹿にし、答えていない。原  
発や沖縄、教育、福祉等々  
問題がいっぱいの国民生活  
を見ていない。目も耳もな  
いのか。



原 信子

知人と会うと子どもや孫  
たちの時代はどうなるんや  
と話になります。  
時間があれば、国会中継  
を見ますが、資料を準備し、  
時間いっぱい国民の立場で  
追求する共産党の議員の姿  
勢には、テレビの前で拍手  
しています。感激していま  
す。

アメリカトランプには訪  
米手前で沖縄の海へコンク  
リートを埋めてまで手土産  
持参で、ハグしてハイタッ  
チ。国民のことが頭にない、  
こんな世界に恥かしいソー  
リもうゴメンです。早いと  
こ引退してほしいです。さ  
せよう!ですね。

2011年3月11日 午後  
2時46分 東日本大震災発生!  
あれから6年が過ぎようとし  
ている。未だに家に帰ることが  
出来ない人が大勢いる。しかし、  
東電や政府は、もう解決済みの  
ような顔をしている。そして原  
発推進の旗を振っている。  
これはおかしい!東電や政府  
は責任を果たさない!これ  
が多くの人達の声である。いま  
も全国で、反原発の運動が粘り  
強く行われている。首都圏反原  
発連合は首相官邸前抗議を行っ

ている。三重県で  
もそして全国各地  
でも反原発の運動  
が続けられている。  
3月4日には、  
「さようなら原発  
三重パレード」が行われる。鈴  
鹿市でも3月11日(土)に「太  
陽の蓋」の映画が上映される。  
私たちは決して福島を忘れない。  
私たちは粘り強くこの運動を続  
けていかなければと思う。

桑原 篤



### 映画会のご案内

## 3月11日(土)

①10時～ ②13時～ ③16時～

鈴鹿市文化会館 2F 第1研修室

前売り券500円(当日700円)

高校生以下無料

主催:「太陽の蓋」鈴鹿上映委員会

(連絡先 桑原篤 090-6086-8248)

6年前のフクシマで何があった  
のか、真実を描いた必見のドラマ。  
菅直人首相ら当時の政治家が実名  
で登場。 チケット好評発売中





## はしづめ圭一の はじめの一步

### 「武器ではなく命の水」 の中村 哲氏

京都国際会館で2月11日、『KYOTO地球環境の殿堂』表彰式、および『京都環境文化学術フォーラム』国際シンポジウムが開催され参加しました。参加の動機は、医師でペシワール会現地代表など幅広い活動をされている、中村哲氏の記念講演とお話です。

中村哲氏はアフガニスタンで、ハンセン病を中心とした難民の診療に携わったのをきっかけに、水があれば多くの病気と帰還難民問題を解決できると、総延長25kmを超える用水路を住民とともに作った人。かつての戦火と干ばつで荒れた土地が緑豊かな集落に再生し、15万人の人々が暮らしているという。

それは今も続き、数年後には20数万人に恩恵がもたらされる・・・昨年9月にNHKのE TV特集「武器ではなく命の水」を見て以来、機会があれば生で聞いてみたいと思っていたことが実現した。京都国際会館は、テーブル付きでゆったりと1000席を超える座席、超豪華な作りに圧倒される。

今年70才になる中村哲氏はプロジェクター



大画面の写真を駆使して、現地の様子を熱く語る。その元気な話しぶりに引き込まれる。・・・人間も自然の一部だから、おごりたかぶれば罰を受ける。自然とともに生きるという考えが大事でしょう。経済成長がなければ幸せにならないのか？と問いかける。水を得た人々の生活の豊かさな姿を映す画像がすべてを物語っている。

究極の経済活動で、すべてを破壊する戦争。「お腹が満たされていけば戦には行かない」、中村哲氏の言葉が思い出される。経済活動と効率が追求され貧富の差が広がる日本で、自然と共生し一人一人の人間の生活と個性が尊重される社会をめざす人々とともに歩みたい。帰りの電車でそう思う。

#### 【参考資料】

E TV特集「武器ではなく 命の水を」

医師・中村哲とアフガニスタン

<https://goo.gl/i0Z0rz>

(鈴鹿市議会議員 橋詰圭一)





石田 秀三の

かけある記

## だれもが「普通の生活」 ができるように

正月明けのある日、嬉しいメールが入ってきました。いまは大阪で働いている女性Mさんから、「2月に結婚します」とのお知らせでした。これはめでたいとさっそく連絡を取り、先日所用で大阪に出かけた時に、駅でMさんと待ち合わせ、お祝いを渡して1時間ほど話しました。

「あのころは本当に大変でしたけど、石田さんにしっかりお世話になって、今はもう大丈夫です。」と話すMさん。その幸せそうな顔を見ながら、鈴鹿での12年前の出会いを思い出していました。

当時のMさん一家は、父親が倒れ植物状態、母親がパートで働くものの、子ども2人との

暮らしのメドが立たず途方に暮れていました。

いっしょに市役所の各部を回り、生活と住居の確保、負債の解決など進め、その後引越しや父親の葬儀などを経て、何とか落ち着きました。そんな中でも高校生だったMさんは、進学の目標をあきらめずに頑張り合格、親戚の支援もありバイトしながら大学を出て、正規の職に就きました。その弟も姉に続いて頑張り、今は働いています。

親子で努力して「普通の生活」を取り戻したMさん一家。「希望をもって頑張ろう」と応援してきた甲斐がありました。

生活相談活動をしていて、こんなに嬉しいことはありません。でも、寄せられる生活相談では、いい解決にならないことも多く、反省するとともに、「貧困と格差」をなくす「世直し」の必要性を、日々痛感しています。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)



## 私のおすすめ 簡単レシピ

### 鶏肉のおろし煮 (4人分)

自由ヶ丘 桑原千香子

- |        |              |
|--------|--------------|
| ① 鶏もも肉 | 400g         |
| 片栗粉    |              |
| しめじ    | 1パック         |
| 人参     | 1/3本         |
| みつば    | 適量           |
| 大根     | 1/4本 (すりおろす) |
| ② だし汁  | 300cc        |
| しょうゆ   | 大さじ2強        |
| 塩      | 小さじ1/3弱      |
| 砂糖     | 大さじ2強        |

- ・鶏肉を一口大に切り、片栗粉をまぶす
- ・人参は皮をむき短冊切りにし、しめじはばらしておく
- ・みつばは3センチ位に切る
- ・鍋に②の調味料を入れ、みつば以外の材料を加え、火が通るまで5分くらい煮る。大根おろしを加えひと煮立ちさせ、最後にみつばをちらす

※ 調味料はお好みで!

## 市民の疑問から教えられたこと



森川ヤスエの

こころに夢を

みなさん車いす用駐車スペースに変だよ？って思うことありますか？

私は先日ある懇談会で、共産党の市議会議員は市民の声を市政に届ける役割を担っていますので、どんな些細な事でも尋ねてくださいね。そしてこれって何とかならない？って相談かけてくださいねという話をしましたら出てきました。「介護施設でも個人でも最近では車いすは後ろの扉を開けるハッチ型が多いのだけど、駐車場のスペースは長さが短いので車いすを降ろすまで何度もドアをしめたり開けたりして後ろを通る車をやり過ごすので結構危ないのです。って。みなさんの声を聞



かせていただいて初めて「そうだね」って思いました。私は今後市の関係者にはこの意見を届けます。と答えました。

さらに「高額医療費の委任払い」以前は意識してみなさんにお知らせしていましたが、私たちの取り組みが国の制度化をつくったので自動的に市民の生活につながっていると思いついていきましたが、自分から申告しないと使えないのだということを会場の方の「これ何とかならないかな」の声で知りました。

後できちんと調べてみましたら、国保関係は市役所国保の窓口、社会保険関係はその管轄の保険組合（健保組合など）に申し出ることが必要とわかりました。入院などの時に「限度額証」をくださいと言ってそれを病院に出すと、後から戻る分の立て替え払いをしないで済みます。ぜひ覚えていてくださいね。

(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)

## 明暦の大火と保科正之

歴史ものをテーマにしたテレビが好きなので朝、新聞でまず見るのが番組欄です。娯楽性を重視して作られている番組も多いので中身を鵜呑みにはできませんが、なかには現代に生きる私たちからみておおいに考えさせられることもあります。

先日、江戸時代初期に発生した「明暦の大火＝1657年」をとりあげている番組がありました。およそ10万人の人が焼死したと伝えられ、後の時代の関東大震災、東京大空襲に匹敵する惨事もいわれるそうです。この大火事の時に江戸城の天守閣も焼けてしまったので、天守閣の再建も復興事業の目玉でした。幕府のなかからは徳川家の権力を見せつけるためにも急いで天守閣を、という意見も出てきてその土台までは作られました。

ところがそのとき、復興の指揮をとっていた保科正之（会津藩主）という人が「待た」をかけたのです。その訳というのは「戦国の世も終わって今は天下太平、そんな時代に天守閣を造って軍事や権力を誇示する必要があるのか！そんなことに金を使うのなら、城下の復興・再建にあてるべし」という英断を下したのだそうです。

保科が今の日本を見たらどう思うでしょう。「オリンピックやリニア新幹線がいま、必要か？福島の復興や庶民の福祉が先じゃろうが」と安倍さんに言うことでしょう。

(谷口 茂)

随想



## 教育を 考える

# 土曜授業 全国では4校に1校しかやっていないのに・・・

3年前から始まった小中学校の土曜授業、三重県内では100%の実施率です。全国的には4分の3が実施していませんから、三重県の状況は異常です。

2013年に文科省が「土曜日に授業をしてもよい」と学校教育法を改正し、2014年に三重県教育委員会が年間8回程度というガイドラインを示しました。実施するかどうかは各市町が決めることになっていますが、「学力テストの平均点をあげよ」という鈴木英敬知事やそれに追随する教育長の圧力もあって、2016年度は多いところで年間11回の土曜授業が実施されています。

ところがここへ来て現場からは「教育効果がない」「多忙化に拍車をかける」「月曜日に子どもたちが疲れた顔で登校してくる」と、批判が高まってきま

した。伊勢新聞2月10日付には「土曜日に出勤してもその振り替えがとれない」と先生たちから不満が噴出し、それに対して山口千代巳教育長が「改善の必要がある」と語ったことが報じられました。津市教委では保護者・生徒・先生からアンケートをとり、来年は土曜授業を極力減らす方向で検討が進んでいます。

鈴鹿市では年間8回の土曜授業が来年も続くようです。鈴鹿市ではすべての教室にエアコンがつくなど、子どもたちにやさしい教育行政が行われています。土曜授業でも文科省や県教委の言うとおりではなく、現場の先生や子どもたちの声に耳を傾けることを願います。

(寺家町 吉田一男)



## 私の ふるさと

### 第7回

私のふるさと、今回は栗原喜代子さんです。大震災と原発事故、二重の苦しみの中から立ち上がるふるさと、栗原さんの強い思いが込められています。

私の故郷は、東北大震災、原発事故が発生した、「3.11」の福島県です。

あの災害から早いもので、もうすぐ6年目に入ります。それでも、私の高校時代の友人たちは、今だに、自分の実家に戻れず、避難場所に住んでいます。

私の実家は、最近やっと放射線の除染作業が終わったところです。昨年、福島に帰省した折は、友人たちの中では、東電の賠償問題の話題が陰でささやかれていました。

原発事故は、人間生活の広範囲に影響を

及ぼし、人の心と体を蝕んでいます。しかし、ふるさとの人々は（私の父と母も含めて）、辛抱強く、無口で穏やか、そして、働き者です。そんな福島の人々だからこそ、復興が進められているのだと思っています。

三重県からは遠い「みちのくの地」で起きた大災害の東北大震災！「頑張れ！ふくしま」、「ど根性で乗り越えて！」とこれからも応援をよろしくお願いいたします。

(栗原喜代子)

今年も早いもので、2ヶ月近くが過ぎました。例年にならないような雪の降る日もあったりして驚きましたが、これから先、おだやかな毎日であってほしいと思います。▼おだやかでないのは安倍政権が成立を図ろうとする「共謀罪」です。「テロ対策」を口実にして一般市民が盗聴や監視の対象にされかねません。現代版の治安維持法であるこんな法律を通すのはぜったい許せません。▼海に向こう、アメリカでもトランプ大統領による外国人入国制限など、横暴な振る舞いに国民の批判や運動が広がっています。トランプ大統領の行動にみんなの意見も言わず、ただただ追随する安倍政権は情けない限りです。▼年内に予想される総選挙、野党の共闘と日本共産党の大きな躍進で安倍政権を退陣に追い込んでいきましょう。わたしたち国民の願いや希望をこんどこそ国政の場に届けるチャンスです。ともにがんばりましょう。

## 編集後記

(た)